

安全・安心な暮らしづくり

「活性化戦略を展開してまいりたいと考えております。」
それでは、平成24年度に重点

一番目には、「安全・安心な暮らしづくり」であります。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命や財産そして替え難いふるさとを奪い、また、福島第一原子力発電所の事故による甚大な放射能被害は、まだまだ解決に至るにはほど遠く、これを機に全国の新発立地自治体や隣接自治体の住民に「脱原発」の動きが広がるなど、この事故が日本全国に与えた影響と不安は計り知れないものがあります。

去る2月15日に開催された原子力防災フォーラムでは、市民の皆様から「原子力だけでなく、地震被害を想定した複合的な被害想定が必要である」また「避難時の避難道路の整備や湖上避難等が必要ではないか」など東日本大震災の実態を踏まえた様々なご意見を賜りました。

的に取り組む具体的な施策につきまして、主なものを申しあげます。

防災対策に意を配し、既に手がけております地域防災計画（原子力災害対策編）の早期策定に向けて、去る2月17日に原子力災害対策計画検討委員会を立ち上げたのをはじめ、原子力防災専門職員の配置による原子力防災対策の体制強化を図り、原子力災害対策マニュアルの策定などに積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、原発に代わる代替エネルギーの問題がクローズアップされる中で、太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用にも目を向けてまいります。

災害発生時の避難経路や物資輸送経路確保の問題に關しまして、陸上交通の幹線道路となる国道161号バイパス、国道303号、367号の改良整備に關し、引き続き強き要請活動を行うほか、湖上交通の活用が注目されている

●自主防災組織の応急搬送訓練
(平成23年度 高島市総合防災訓練)



中で、市内の漁港、舟溜り施設全この耐震調査を実施するほか、市内道路橋梁の現況調査も実施いたします。

また、災害拠点病院となる高島市民病院に隣接して、広域避難所やヘリポートなど防災拠点施設を整備するほか、市民の皆様が災害時において迅速、適切な行動がしただけできるよう、防災行政無線デジタル化の早期完成と、災害時映像転送システムの導入に努め、伝達手段の充実を図ります。

市民の皆様から要望の多い学校給食における食材の放射線チェックにつきましては、各学校給食センターに1台、食品用放射線測定器を常備し、子どもたちのための安全・安心な給食の提供に努めます。

市民の皆様様の「自助」、「共助」

高島の人づくり、地域づくり

一番目は、「高島の人づくり、地域づくり」であります。

各地域におきましては、それぞれ熱心に区事業、自治会活動にお取り組みいただいております。改めて敬意を表する次第でございます。

昨年度に創設いたしました「みんなで作るまちづくり交付金」制度も、「前より使い勝手が良い」と一定の評価をいただいているところであり、「まちづくり整備事業補助金」と組み合わせまして、今後も有効にご活用いただき、地域の絆の深まる事業を展開していただきたいと期待いたしております。

昨年11月に市内の中学校で発生した深刻ないじめ事件は、子どもたちはもとより、保護者の皆様、教育関係者そして市民の皆様にも多大なご心労とご心配をおかけいたしました。

この事件は、市にとりましても、教育委員会にとりましても痛恨の極みであります。この事実をしっかりと真剣に受け止め、子どもたちと正面から向き合っ



いくかが、今後の大きな課題であります。平成24年度には、学校におけるいじめ根絶に向け、教育委員会内の教育相談・課題対応室の充実を図り、地域を挙げて、また教育関係者一丸となって、いじめ防止に全力で取り組んでまいります。

次に、私のマニフェストの一番目に掲げております15年間の子育て支援につきましては、これまで乳幼児福祉医療費の無料化や父子手当の支給、子ども局の設置また民間保育園、幼稚園の運営支援などに積極的に取り組んでまいりました。

平成24年度は、それらの集大成になります。私立保育園、幼稚園の整備支援として、安曇川地域のはこぶね保育園、藤波幼稚園、中央幼稚園の3園が平成25年の春にはそろって新しい施設が開園できよう支援を継続してまいりたいと考えております。

併せまして、今津幼稚園の通園バス購入に対する助成、マキノ東保育園、なないろ保育園の給食アレルギー課題にも的確に対応してまいりたいと考えております。

いよいよ高島市民病院が本年5月に開院いたします。この新病院を二次医療の中核病院また災害拠点病院として、地域医療機関や保健、福祉施設との連携を深め、総合的なケアシステムを構築し、誰もが生涯を健康で暮らせる地域づくりに取り組めます。

併せまして、老朽化している朽木診療所の改築移転事業に着手し、高島市民病院との連携により、朽木地域における直営診療の充実を図ります。

また、介護老人保健施設「陽光の里」につきましても、現在の病院3D棟を改修し、病床を60床から100床に増床して、利用者の拡大とともに施設経営の安定化

●災害時映像転送システム
(平成23年度 高島市総合防災訓練)



は、災害を最小限に食い止める大きな手立てであることから、これまで取り組んできた自主防災組織のさらなる育成に努めるとともに、防災への関心と知識を高めるため、各自治会へ職員が直接出向く「防災出前講座」に引き続き精力的に取り組んでまいります。

